

備える。

準備。予備。整備。装備。守備。警備。
そなえる…用意する、そろえる、用心する
防備。常備。完備。不備。具備。兼備。
そなえ…したく、用意。警戒。防衛
備品。設備。備蓄。備置。備考。備忘。
そなわる…準備ができる、身に付く
●●●ソナエ アレバ ウレイナシ!!

no. **10**

かわさき
防災広報紙

昭和60年5月31日発行
編集・発行：
川崎市土木局防災対策室
〒210 川崎市川崎区宮本町1番地
TEL.(044)200-2111内線2841



毎月15日は《川崎市民地震防災デー》です

毎月15日はなんの日かご存じですか。
そう、《川崎市民地震防災デー》です。

ゴミ収集車や消防車の放送で、あるいは市バス
の車内アナウンスで聞いたことがある…と思っ
浮かぶ方も多いでしょう。

川崎市ではふだんのくらしの中で身近な防災
対策をすすめるために

- 火の元を確かめる
- 家具が倒れないように点検する
- 非常持ち出し品を確かめる
- 家族みんなで話し合うなど

を中心に、安全点検を呼びかけています。
もちろん、日ごろから防災に取り組んでいれ
ば、それにこしたことはありませんが、とかく
忙しい毎日の生活の中で、大切さは感じなが
らも、つい《この次》に回しがちな防災のための
行動を、家庭や地域そして職場で、具体的に
始める…《川崎市民地震防災デー》をそのきっ
かけに!

ふだんから、備える。

ひとつひとつ、備える。

防災デーのチェックポイント

●火の元の安全を確かめる



●家具などが倒れないように点検する



●わが家の備蓄品・非常持ち出し品を確かめる



●家族みんなで防災について話し合う



●応急手当の方法を知っておく

●「わが町」の自主防災組織の防災訓練や防災集会など、防災活動に参加する

●まだ、ほかにもたくさんありますが、まず、川崎市市民地震防災デーに自分自身でやってみましょう。

日本海中部地震「能代市の災害記録」(能代市提供)
恐怖で絶望的な思いに

難波由利子さん

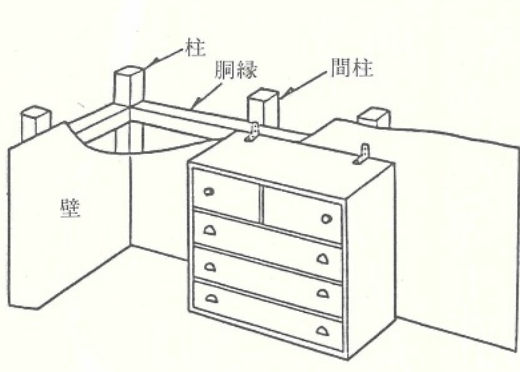
「エリ！ エリ！ エリ！ エリ！」

ゴゴゴゴ
ギーゴギーゴ
タップタップ

外にいて植木に水をやっていたら12時のサイレンが聞こえたので水道の蛇口を閉めながら「もうお昼だから家にはいるよ」と子供(4歳)に叫んでいたらゴゴゴゴという音がして立っている地面が揺れました。子供の泣き声が聞こえた姿が見えなかった。「エリ！ エリ！ エリ！」と呼びながら走って子供を探した。裏の母さんが孫(3歳)の名前を呼びながら門から入ってきたが、酔っているように体が左右に揺れていた。ハウスの裏で泣いている子供(一人)の姿が見えたのでその方に走ったが地面が揺れるので思うように足が動かず、私と母さんは二人ともころんとしまった。違うようになり起き上がった。夢中で足場の悪い水路を飛び越え、すぐ又右へ曲りもう一つの水路を飛び越え、やっと子供の所に着いた。子供を抱きかかっていた。揺れているのがせいぜいはいっぱいでした。家の方を見たらギーゴギーゴと左へ20、30cm位何回も傾いた。左を見たら耕運機をかけたばかりでまだ何も植えしていない平らな畑が丁度、波がよせて返すようにタップと地面が上ったり下ったり何度くり返した。いつ終るともわからない激しい揺れが続いている間は、これからどうなるかわけがわからず、ただ恐怖でも

身の回りの安全レクシス② 家具のとめ方

●柱のみえない壁にとめる場合柱のみえない壁を背にして家具をとめる場合は、壁をたたいて中の間柱や胴縁のあるところをみつけて、ヒートンや金具にとめる。



う絶望的な思いでしゃがんでいた。揺れがようやく弱くなり、立って歩くことができるようになって初めて「あー助かったんだ」と思いました。さっきの水路からは水がどんと溢れ出し低い道路の方へ流れ出しました。水道の排水管がへ字型に曲って地面の上にむき出してしまいました。うらのじゃがいも畑の畝が曲ったり、崩れたり、噴砂によって、畑のあちこちにクレーターがいくつもできました。家は地面ごと南へずれた。家が傾いた。床が高くなったり低くなったりしました。倒れたものは玄関のゲタ箱、ミシン(箱型35kg)、本棚等、部屋の中は散乱し、流し台の下のドアが開き、油缶、味噌が床にこぼり出ていた。

- ★火を使う器具の故障などはないか
- ★火を使う器具のまわりの整理整頓は良いか
- ★石油や塗料などの燃えやすい物は安全に保管してあるか
- ★プロパンガスボンベはくさりなどで固定されているか
- ★消火器などはすぐ使える場所に置いてあるか
- ★消火器などの使い方を知っているか
- ★家具などが倒れないように固定してあるか
- ★家具などは倒れないように固定してあるか
- ★二段重ねの家具は上下をとめる
- ★冷蔵庫やピアノなどは特に注意する
- ★ガラスのある戸棚なども注意
- ★固定できない物は置き場所に気を付ける
- ★棚から物が落ちないようにしてあるか
- ★出入り口は確保できるようにしてあるか
- ★小さな子供や病人、お年寄りがある部屋は安全にしてあるか
- ★食料、飲料水、燃料は3日分ぐらい確保してあるか
- ★非常持ち出し品はいつでも持ち出せるようにしてあるか
- ★(トランジスタラジオ、食料、飲料水、医薬品、下着類、懐中電灯、マッチ、ナイフ、缶切り、ビニール袋、手袋、細ヒモ、貴重品など)
- ★赤ちゃん、病人、お年寄り用のものは準備してあるか

- ★83日本海中部地震などの調査によると、大地震のとき、一番心配だったこととして、多くの人が「家族の安否」をあげています。地震が起きたときに家族のひとりひとりがどうするかなど、話し合いをしておきましょう。
- ★地震が起きたらどうするか
- ★警戒宣言が出たらどうするか
- ★避難する場所はどこか、どういう道順があるか
- ★家族の連絡先はどこか
- ★家の中の安全点検はどうか
- ★非常持ち出し品はどこにあるか
- ★わが家で一番安全な場所はどこか

ボブ君

おたけは地震対策は？

おたけは地震対策は？

おたけは地震対策は？

おたけは地震対策は？

これが 1 本物の揺れた

防災センターにある「地震体験装置」は、いままでの起震機と違い、実際に起こった地震のデータをテープに記録し、これを機械にかけて「生」で再現させる最新鋭機です。記録テープさえあれば何通りでもできる装置で、現在は、関東大地震や宮城県沖地震、十勝沖地震、インベリアルパレー地震、カリフォルニア地震など5本のテープがあります。

見学者は小学生からお年寄りまで幅広く、また、地震の防災、建築について学ぶ実地教育の場としても利用されています。装置はプレハブ作り3畳間ですが、内部には効果を増すためプラスチック製洗面器などの落下物もあり、体験者の中には、激しい揺れに思わず悲鳴をあげたり、床にしゃがみ込んだりする女性もいます。

「地震体験装置」によって、地震をただこわがるのではなく、一人でも多くの方が**本物の揺れをハダで感じていただきたい**と思います。

◎見学ご希望の方は、川崎区小田7-3-1 川崎市南部防災センター ☎355-2175へ 交通機関＝川崎駅東口9番のり場 臨港バス 富士電気行「小田小学校前」下車 徒歩6分